

和歌山インターハイ東京都選手団の展望

文責 強化委員長 小林 隆雄

7.6 訂正

南関東大会観戦記

今年の南関東大会は、6月19日から22日まで山梨県中銀スタジアム陸上競技場で行われた。梅雨らしく雨が混じり蒸し暑い時間帯もあったが、概ね良いコンディションで4日間の競技は進行された。この南関東大会は、全国屈指のハイレベル地区であることは周知の事実であるが、その中において東京都選手団はこれまでにない健闘を見せ、遂に南関東地区最多数のインターハイ出場数と優勝種目数を得た。その結果、東京都を代表して和歌山県で行われるインターハイへ出場するのは、男子が延べ42種目と4チーム、女子は延べ28種目と5チーム、男女合計で述べ70種目と9チームの出場権を得た。男女ともに昨年を上回り、東京都史上最多の選手団となった。優勝種目数も男子10種目女子8種目合計18種目とし、他の三県を大きく上回った。

インターハイ出場校数は33校。出場人数も、ここ数年では最多の男子56名・女子50名合計106名とした。(記録一覧・下記資料参照)

更に、1位から3位までの上位を独占した種目も多く、男子4種目女子2種目とし「東京都強し！」を印象付けた。特に男子のスプリント種目と走幅跳は1位~4位までを独占し都大会の結果を証明できた結果となった。また、男子1500m・女子砲丸投・女子七種競技で1位~3位独占をする活躍ぶりであった。逆に、東京都からインターハイに出場できなかったのは男子棒高跳と女子3000mであった。ともにレベルの高い決勝となり一步及ばず入賞を逃した。来年こそは全種目でのインターハイ出場を目指したい。

記録的には、女子4×100mリレーにおいて東京高校が45秒67の東京都高校新記録・大会新記録をマークし、男子4×100mリレーでも東京高校が40秒33の大会新記録を樹立し、ともに全国1位にランクされる好記録を打ち出した。東京高校は4×400mリレーでも女子優勝・男子4位としてリレー4種目すべてに全国大会での活躍が期待される。

また、男子100m・200mでは、両種目とも全国トップのハキーム選手・大嶋選手はそのままインターハイでも優勝を争うものと思われる。女子100mのエドバー選手も同様で、昨年に続きインターハイ2連覇の可能性は非常に高いものと期待できる。女子七種競技の大野選手は1年生ながら5000点を越える潜在能力を備えており、全国での1年生優勝も期待したい。同じ白梅学園の高橋このか選手は今年、故障を抱えたままの競技でここまで乗り越えてきたが、万全ならば優勝候補の筆頭となる実力があるだけに回復を祈る次第である。

更に、男女の競歩競技も有力である。男子の小野川選手は昨年のユースオリンピック優勝者で、「世界一」の選手でもある。しかし、日本の競歩はレベルが高くライバルは多い。本人の「日本一」への思いが強く、歩型も安定していることから期待できそうだ。女子の萩原選手も今季順調に記録を伸ばし、浅い経験ながらここまでランキングを上げてきた。この種目の入賞は久しく無く、暑い中でのレースとなるが東京都の競歩に新風を吹かせてもらいたい。

これらの要素から、今年の和歌山インターハイでは東京都選手団が大暴れできるものと期待する。昨年の山梨インターハイでは都道府県対抗得点を2位としたが、今年は是非とも「強い！東京都」を自負し、全国NO1の座を獲得したいものである。そのためにも、万全のコンディションで和歌山に出向いてもらいたい。

資料1、南関東大会四都県別インターハイ出場数と優勝種目数

	東 京	神 奈 川	千 葉	山 梨
男子出場数	42種目 4チーム	28種目 5チーム	32種目 3チーム	5種目 0チーム
女子出場数	28種目 5チーム	28種目 3チーム	20種目 3チーム	5種目 0チーム
男女合計	70種目 9チーム	56種目 8チーム	52種目 6チーム	10種目 0チーム
優勝種目数	18種目	8種目	9種目	3種目

☆インターハイで活躍が期待される高校ランキング上位者（地区大会終了時点）

男子

100m 10秒30 サニブラウン・アブデル・ハキーム（城西大城西2）1位
10秒38 大嶋 健太（東京3）2位 10秒51 小池 真郁（国学院久我山3）8位
200m 20秒73 サニブラウン・アブデル・ハキーム（城西大城西2）1位
20秒99 大嶋 健太（東京3）3位 21秒23 小池 真郁（国学院久我山3）6位
21秒34 井上 大地（東京1）11位
1500m 3分49秒48 越川 堅太（東京実業3）3位
110mH 14秒24 平松パプデンバ（都芦花3）3位
400mH 52秒37 北山 亮介（東京3）13位
5000m競歩 20分31秒95 小野川 稔（東京実業3）1位
走幅跳 7m33 橋岡 優輝（八王子2）14位
三段跳 14m72 舘 一樹（東京3）12位 円盤投 46m88 福留 大成（東京3）3位
八種競技 5457点 本橋 輝久（都豊多摩3）10位
4×100mリレー 40秒33 東京高校 1位 40秒78 城西大城西高校 5位
4×400mリレー 3分12秒51 東京高校 4位 3分13秒98 城西大城西高校 15位

女子

100m 11秒80 エドバー イヨバ（東京3）2位 11秒98 福田 真衣（東京2）12位
200m 24秒58 上村 希実（東京3）6位
3000m競歩 23分58秒34 萩原 采以子（都富士3）10位
砲丸投 13m38 坂本 早映（三田国際3）7位
七種競技 4889点 大野 優衣（白梅学園1）4位 4732点 高橋このか（白梅学園3）12位
4×100mリレー 45秒67 東京高校 1位
4×400mリレー 3分43秒94 東京高校 4位 3分45秒00 白梅学園 8位

☆第99回日本選手権 新潟県 デンカビッグスワンスタジアム 6月26日～28日

男子100m サニブラウン・アブデル・ハキーム（城西大城西2）10秒40 2位
男子200m サニブラウン・アブデル・ハキーム（城西大城西2）20秒56 2位
男子100m 大嶋 健太（東京高校3）準決勝進出 予選10秒41
女子100m エドバー イヨバ（東京高校3）11秒86 4位（予選11秒79）
女子棒高跳 青柳 有香（都雪谷2）記録なし

☆活躍する東京都出身選手

アジア・ユース大会 ドーハ・カタール 5月8日～5月11日
女子200m 守田 紗矢香（東京高校1）25秒16 2位
男子走幅跳 酒井 由吾（都南多摩中等1）7m31 2位
アジア選手権 武漢・中国 6月3日～7日
女子400mH 伊藤 明子（筑波大学2）田園調布学園出身 59秒08 7位
世界ユース選手権 コロンビア・カリ 7月15日～19日
男子100m・200m サニブラウン・アブデル・ハキーム（城西大城西2）